



学校法人森学園



幼保連携型認定こども園

いのやま

幼稚園 保育園

いのやまっ子の掟

- 一、目を見て挨拶をします。
- 一、返事は「はいっ」と元気よく。
- 一、脱いだ靴はそろえます。
- 一、人の喜ぶことをします。
- 一、最後まであきらめないでがんばります。
- 一、家族に感謝します。



第2園庭



体育館



温水プール



バイオガーデン



庄戸グラウンド



ビオトープ

施設のご案内



いのやまっ子の一日は、
朝のいのやま体操とマラソン、
元気な歌声と
「いのやまっ子の掟」
で始まります。

みなさん、こんにちは。
認定こども園いのやまです。
横浜市栄区にあります。
見てのとおり
とっても良い所なんですよ。
このすばらしい場所で、
こどもたちとともに
自分自身も成長したい、
幼児教育・保育の仕事をしたい
とお考えの方は、
是非園見学にお越しください。



Inoïdama's Voice

1年目の先生に聞いてみた!

山形 美帆 (やまがたみほ) 先生

2020年入社(1年目)

趣味: ピーチパレー

学生の頃に一人暮らしをしていた部屋よりも、園の宿舎のほうが広くて綺麗です。(笑)



先輩の先生方の見習いたい部分、勉強になる部分はどのようなところですか?

「気づく力ですね。すぐ気づいてすぐ動ける。先輩の先生方は自分一人でやるうとしないで、合間を縫って、あの先生がこれやってるから自分はこれやらなきゃというふうにして、周りが見えていきます。みんなで協力して物事が進んで行く様は、本当にすごいと思います。その気付く力を見習いたいです。」

住宅補助(宿舍借上)制度を利用をされているようですが、どのようなお部屋にお住まいか教えてください。

「二階建ての賃貸アパートで、すごい内装が綺麗です。大学の時に一人暮らしをしていたアパートとは大違いで、凄く綺麗です。周りにお店とかいっぱいあって。家賃は全部(学)森学園が補助してくれて、助かっています。」

働く・暮らす場所として、認定こども園のやまのある横浜市栄区はどのような場所でしょうか?

短大の時から栄区に住んでいるのですが、住みやすいと思いますよ。都会に程よく近くて、自然もあっていい感じですよ。」



Inoïdama's Voice

男性保育士も活躍中!

中村 豪 (なかむらつよし) 先生

2015年入社(10年目)

趣味: 今は子育て

地元栄区で育ち、保育実習も認定こども園のやまでした。奥様もいのやま職員で、現在産・育休取得中。二児のパパで子育て奮闘中のつよし先生に話を聞きました。

保育教諭という職種を選ばれた理由、きっかけを教えてください。

「僕は小さい頃から、こどもと遊ぶのが好きで、好きなことを仕事にできたらいいなと思っていました。最初は幼児体育系を希望していたのですが、就活や実習をしてみても、保育・教育の方が自分にあっているなと思いつきました。」

数ある幼稚園保育園の中で、認定こども園のやまを選んだ理由を教えてください。

「実習の時から、すごく楽しかったなあという印象が残っていました。そこで園長先生に誘っていただいてよし行こう!と思いましたが、」

お仕事をされていて大変だと感じることはありませんか?

「大変なこと? いっぱいあるな(笑) ふと思いついたのが、僕が新人の頃は、先輩たちが女性しかいなかったんですね。お手本として女性の先輩たちを見ていると、同じようにやるのかな? ってちょっと悩んだときがあって、園長先生にその悩みをほろっと話したことがあったんです。その時園長先生が、同じやり方にする必要はないよ、中村君のやり方でいいのよって言ってくれて、楽になったというのを思い出しました。すごく気持ちが楽になって、遊びやすくなりました。」



呼び名が変わった瞬間、本当にうれしかったです。

Inoïdama's Voice

1年目の先生に聞いてみた!

松下 将也 (まつしたまさや) 先生

2020年入社(1年目)

趣味: ドライブ

最初の頃、こどもたちからは『先生』と呼ばれていました。こどもたちと信頼関係ができたなと思えたのは、『まさや先生』と呼んでくれるようになったときです。こどもたちと関わる中で一番うれしかった事です。



Inoïdama's Voice

ある日のいのやま

鈴木 沙季 (すずき さき) 先生

2015年入社(5年目)

趣味：テニス・山登り

笑顔がいっぱいの園です！

認定こども園いのやまは男性の先生も多い
せいか、女性の先生同士もすごく仲が良い
んです。働く前は人間関係が怖いと思ってた
んですけど、全くそんなことなかったですね。
近所のおすすめスポットは大船市場です。
大船に住んでいる先輩とよく一緒に行くん
ですけど、野菜がすごく安いですよ！

認定こども園いのやまを選んだ理由を教え
てください。

「私は鎌倉市で就職したいと思っていたので、
鎌倉市の幼稚園・保育園ばかり見学していた
のですが、友人に横浜市の幼稚園合同説明
会に誘われて行くことになりました。横浜市
内の園長先生が何名かいらして、認定
こども園いのやまの園長先生も来られてい
ました。お話をさせていただいた時に、『困
った事があったら相談に来なさい』と言っ
ていただいたのがすごく印象に残っていま
す。(今思うとこの時がきっかけになっています)
でもその時は、横浜市米区がどの辺りかも
全く分かってなかったのが、横浜で働く
ことはないだろうけれど、いい先生だなと
思いました。
その会の最後にそれぞれの園長先生に質問
する機会があったんですけど、みんな認定
こども園いのやまの園長先生のところばっ
かりに行ってしまうので、たいへん混乱合っ
てしまい、私は諦めてしまいました。
その後、数園見学しましたが、理想の園には
巡りあえず、ゼミの先生に相談し紹介して
いただいたのが、あの時の認定こども園
いのやまだったのです。すごい運命感じ
ました。
認定こども園いのやまは電話の対応や見学
させていただいた時の先生方の様子など、
もう何から何までここで働きたいって思っ
たのが理由ですね。」

鈴木先生の

一日の流れ



8:00

出勤したらこどもたちの
受入準備をはじめます。
おはようございます



9:00

こどもたちを元気にお迎えます。
顔を見てご挨拶をすることで、
心と体の健康状態をチェックします。



10:00

朝はいのやま体操とマラソン、
元気な歌声ではじまります。
朝の会。
クラスの活動。
一人ひとりの様子を見ながら
環境を整えます。



11:30

給食は自園調理をしています。
園の畑でこどもたちと収穫した
季節の野菜を食べるのも楽しみです。
戸外でこどもたちと
思いっきりあそびます。



14:00

帰りの支度
「さようなら、またあしたね」
明日の準備



16:30

降園後は保育室のお掃除や
明日の準備をします。



17:00

指導計画、保育日誌、
一日の振り返りや打ち合わせをします。
職員室で終礼
帰宅



いのやまの1年

食育もりもりプラン

- 4月 進級・入園式
プール開き
- 5月 春の遠足
- 6月 お泊まり保育、盆踊り
- 7月 夏期保育
- 8月 移動動物園・運動会
- 9月 秋祭り
- 10月 ドッチボール大会
- 11月 サンタ訪問、発表会
- 12月 お相撲大会、造形展
節分集会
- 3月 音楽会、お花見、
お別れ遠足、卒園式

- さつまいも苗植え・野菜の苗植え
- じゃがいも堀り・梅もぎジュース作り
- ポテトパーティー・カレー作り
- 流しそうめん スイカ割り
- おにぎり作り
- サンマを食べよう
- お芋掘り・干し柿作り
- 玉ねぎの苗植え・白玉作り
- だいこん堀り・お餅つき
- たくあん作り・味噌作り
- 命をいただく

向井 すずな(むかいすずな)先生
2014年入社(6年目)
趣味：バスケットボール・編み物

自分が卒園した 大好きな園を選びました

いのやまの給食インスタグラムはこちら
https://www.instagram.com/inoyama_morigakuen/



みんなが幸せだったらいいなって思います

森 洋二(もり ようじ)施設長
趣味：バイクツーリング

畑 食育



広い農園では、じゃがいもやさつまいも、だいこんを苗から育てています。園庭の菜園では、トマト、キュウリ、ブロッコリー、ズッキーニ、ナス、ピーマン、インゲン、えだまめ、とうもろこし、おくら、はくさい、キャベツ、カリフラワー、などなど…。いろいろ育てています。収穫したら調理室で茹でてもらい、おいしくいただきます。

いのやまの食育基本方針

「活発に動くからだ、自ら進んで行う意欲を育てる。」
認定こども園いのやまでは安心安全な食材を使い、化学調味料や合成添加物を使わない方法で給食作りをしています。旬の食材・野菜を使い、和食を中心に献立を作成しています。

ぜひ遊びに来てくださーい！

来ないと分からないこともあるから、ぜひ遊びに来ていただきたいです。ホームページのブログも見てもらいたいなと思います。認定ことも園いのやまをいいなって思う方とは、どんな人ともいっしょに働きたいなと思いますし、絶対仲間になりたいなと思います。



前田（まえだ）副園長先生
趣味：ボーイスカウト

生きる力

家族、先生、地域の皆様に
たくさん愛情を注いで頂いたこともたちは
未来に向かって、すこやかに成長して
未来の幸せを自らの力で築いていきます。
誰かの役に立った時、嬉しいと感じる素直な心。
人の喜びや悲しみを自分のこととして受け止める健やかな心
それは、強さと優しさ。
それが森学園の子どもたちの生きる力そのものです。

自然を愛する「にころ」 先祖を敬う「にころ」
家族や命を大切に思う「にころ」を育てます。
四季の変化の中で生活できる「にころ」に感謝し
おともだちと仲良く遊び
優しい「にころ」と元気な身体を育みます。



地球上の小さな国、美しい国、日本。
先人達が残してくれた伝統、文化、芸術、そして日本人としての誇り……。
歴史から学び未来へと続く「今」を大切に生きる幸せ。
このことを森学園は、幼児期の自ら育とうとする「しなやかな心」に、
愛に満ちた育ての心で大切なこととして伝えていきたい。
子どもたちが育ってゆく中で、未来への夢を描き、
自分の生まれてきた役割を見つけ、命あることに感謝し共に学び、
素晴らしい未来を創る力となる。
それは親から子へ、子から孫へと受け継いでゆく憧れでもあります。
それが森学園の理念であり願いです。

学校法人森学園
園長 森 往子